

### 鋼製二重殻タンクの構造例

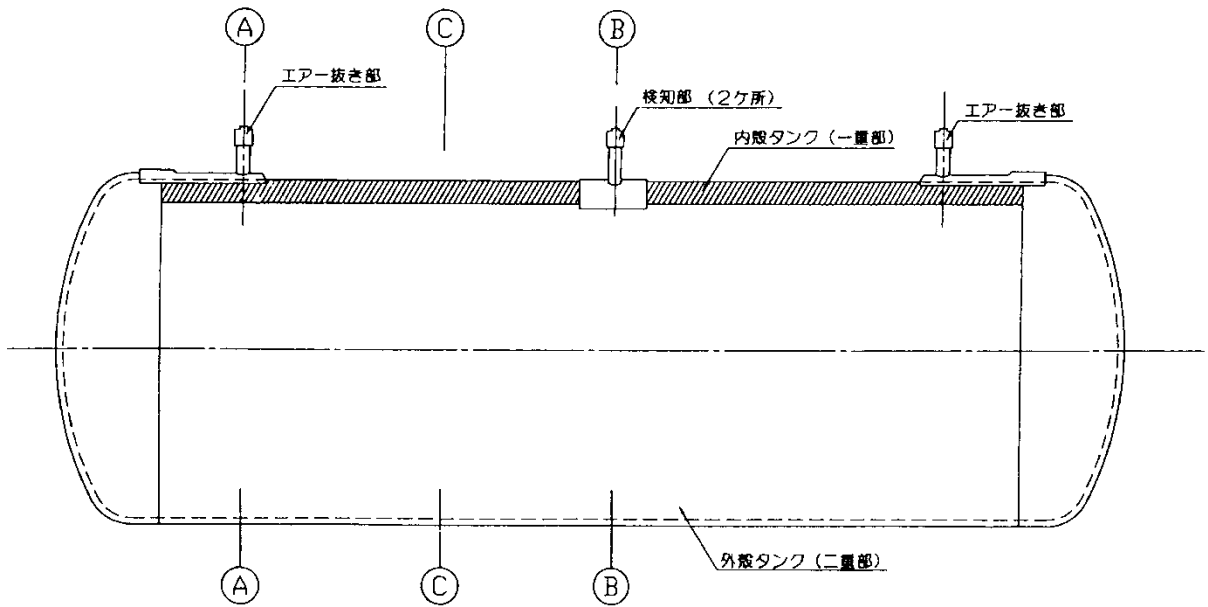


図 1-1 鋼製二重殻タンク

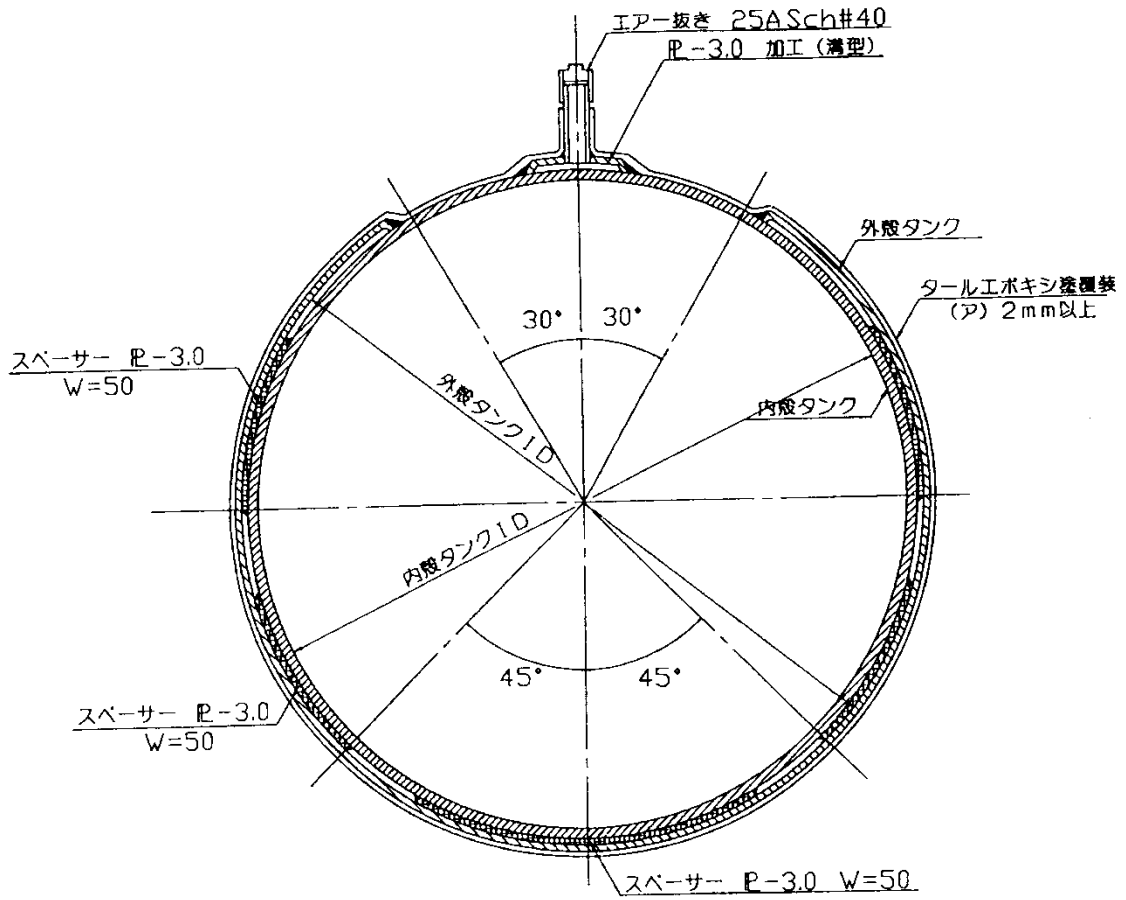


図1-2 エア-抜き部断面詳細

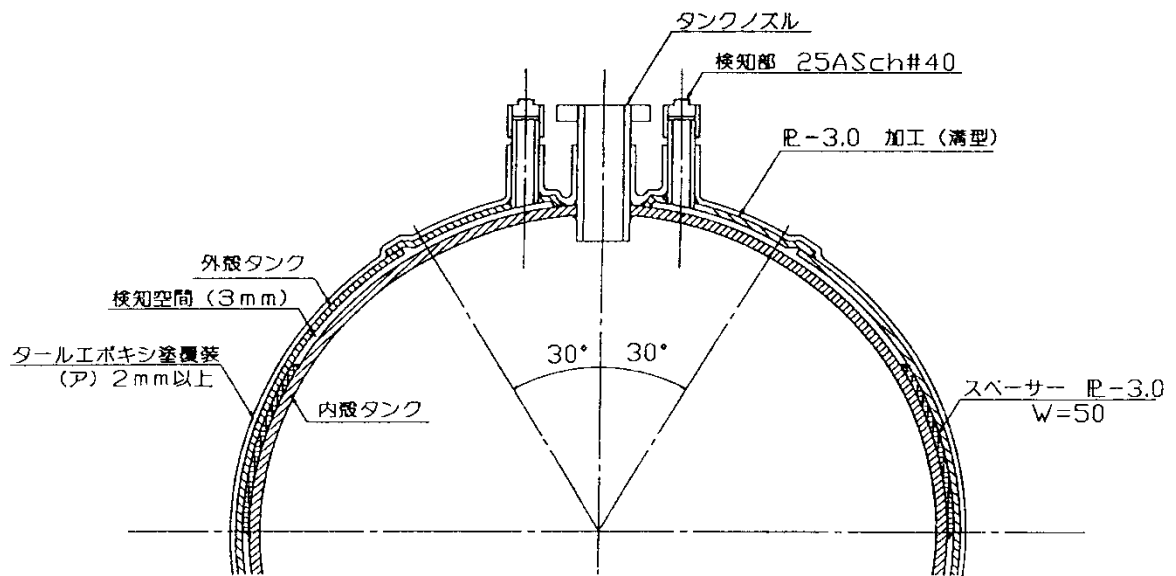


図1-3 検知部断面詳細

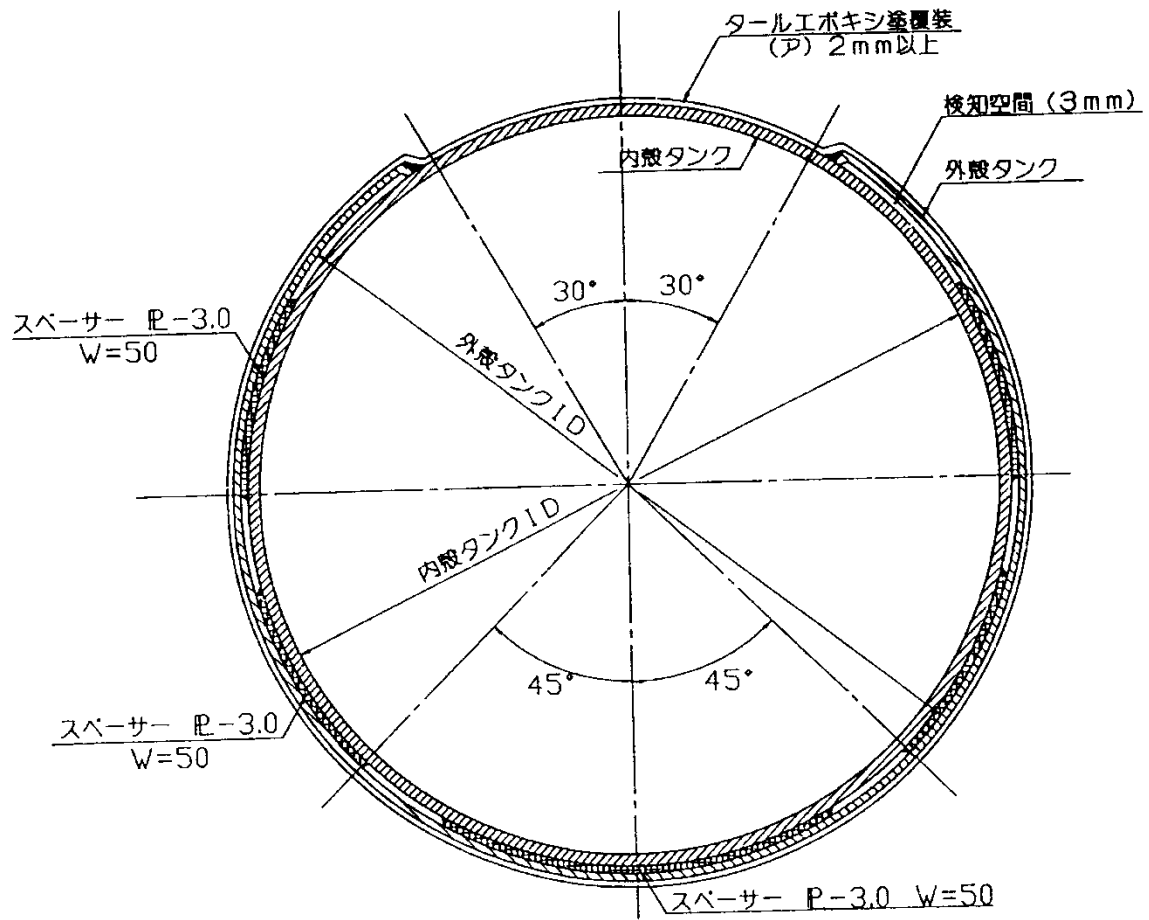


図1-4 一般胴部断面詳細

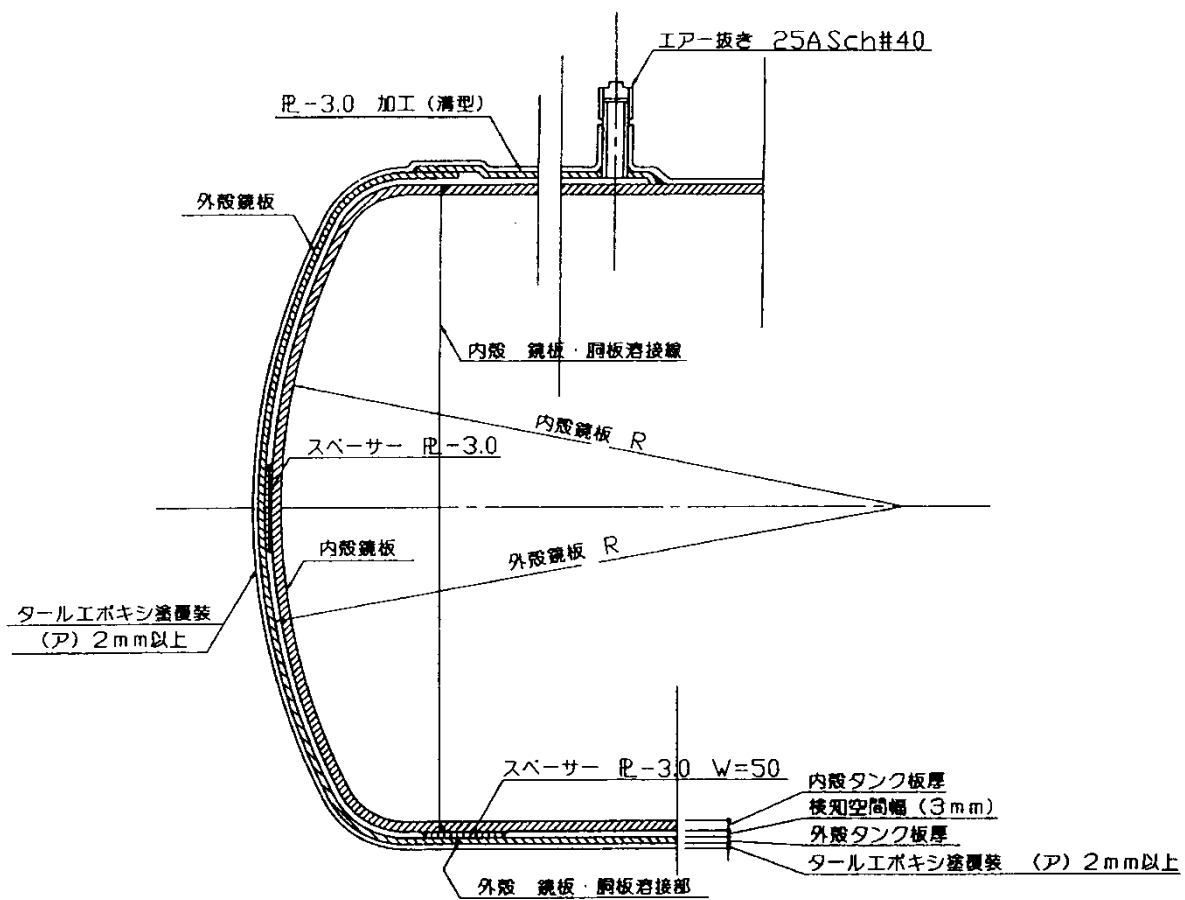


図1-5 鏡板部断面詳細

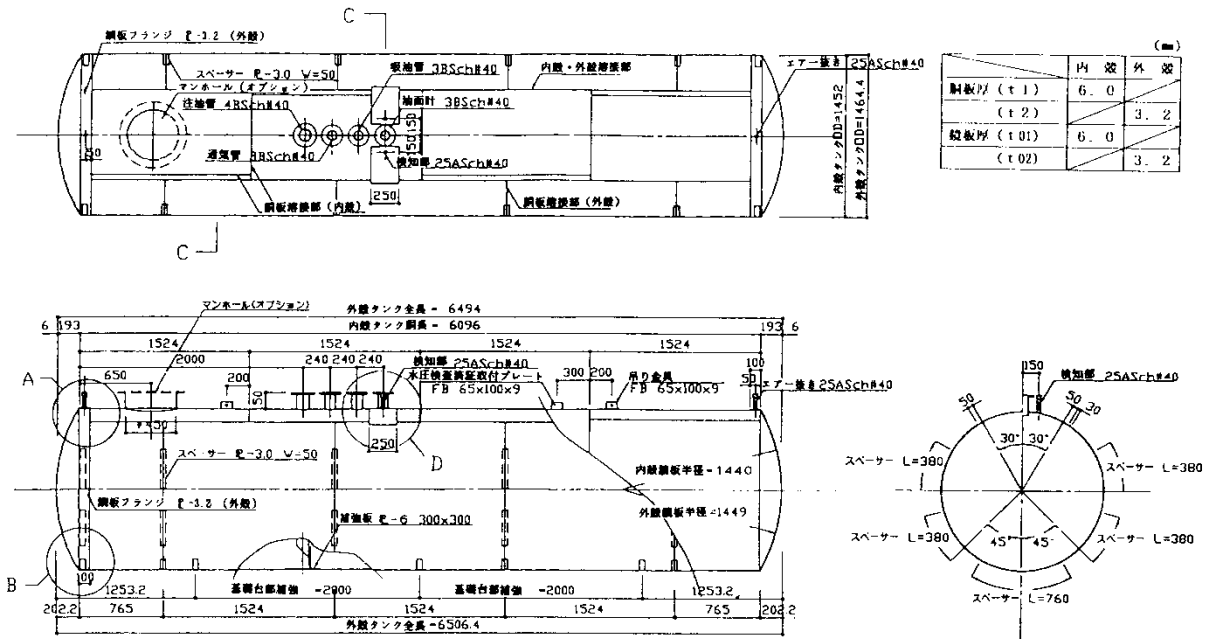


図 2-1-1 鋼製二重殻タンク構造の例 (10KL 内径:1440)

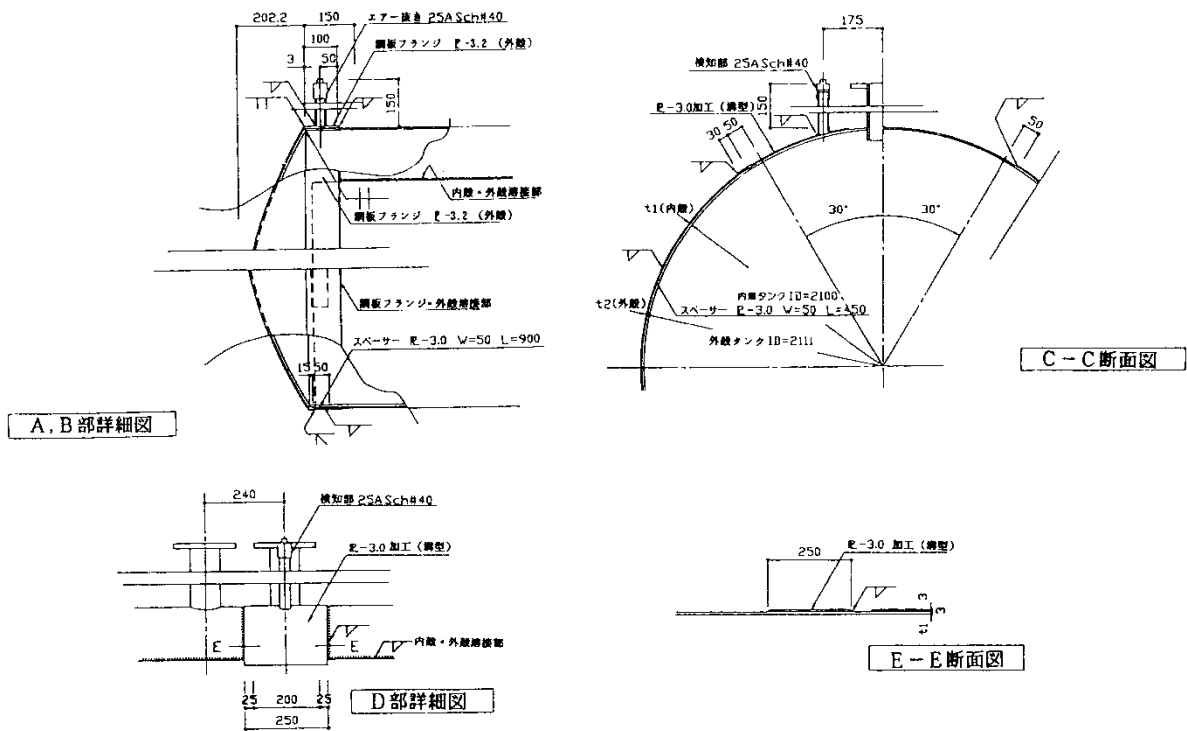


図 2-1-2 鋼製二重殻タンク各部の例 (10KL 内径:1440)

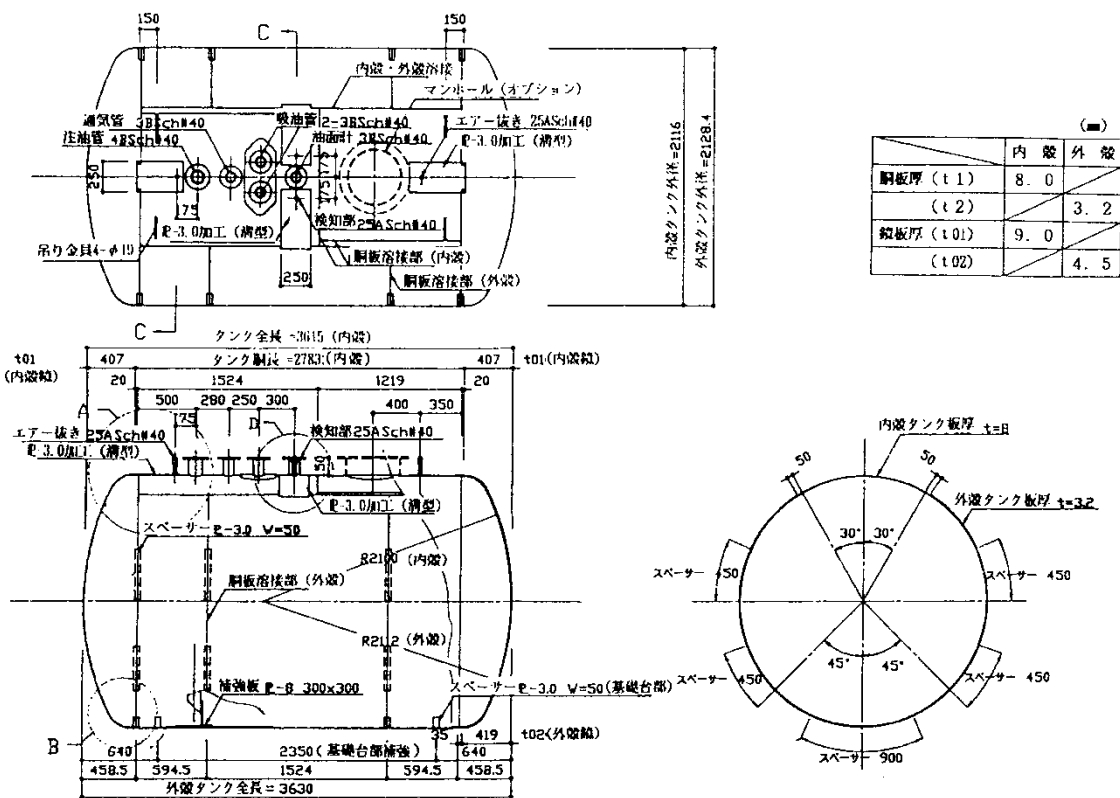


図 2-2-1 鋼製二重殻タンク構造の例 (10KL 内径: 2100)



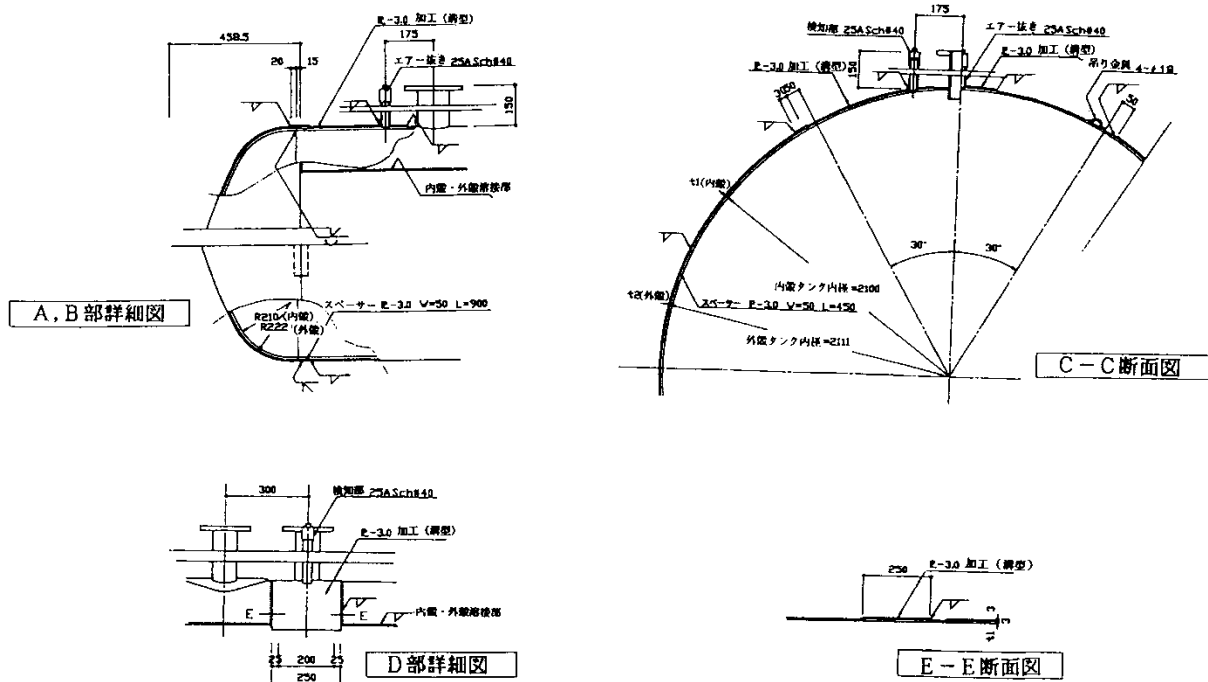


図 2-2-2 鋼製二重殻タンク各部の例 (10KL 内径: 2100)

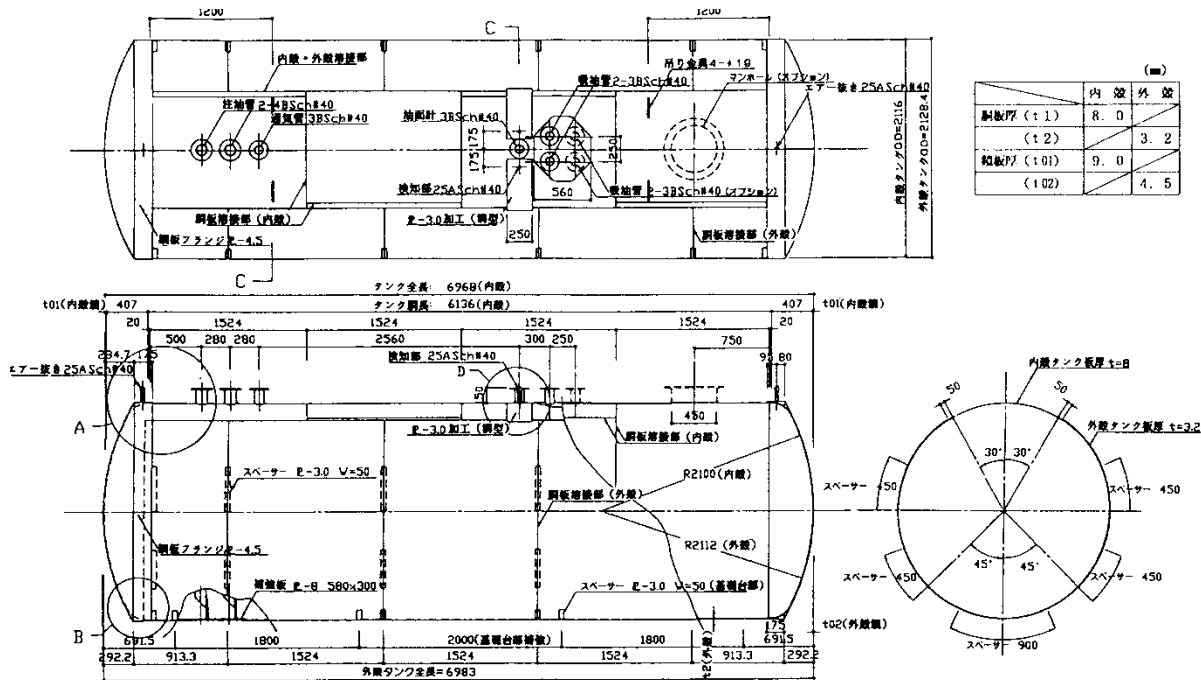


図 3-1 鋼製二重殻タンク構造の例 (20KL 内径: 2100)

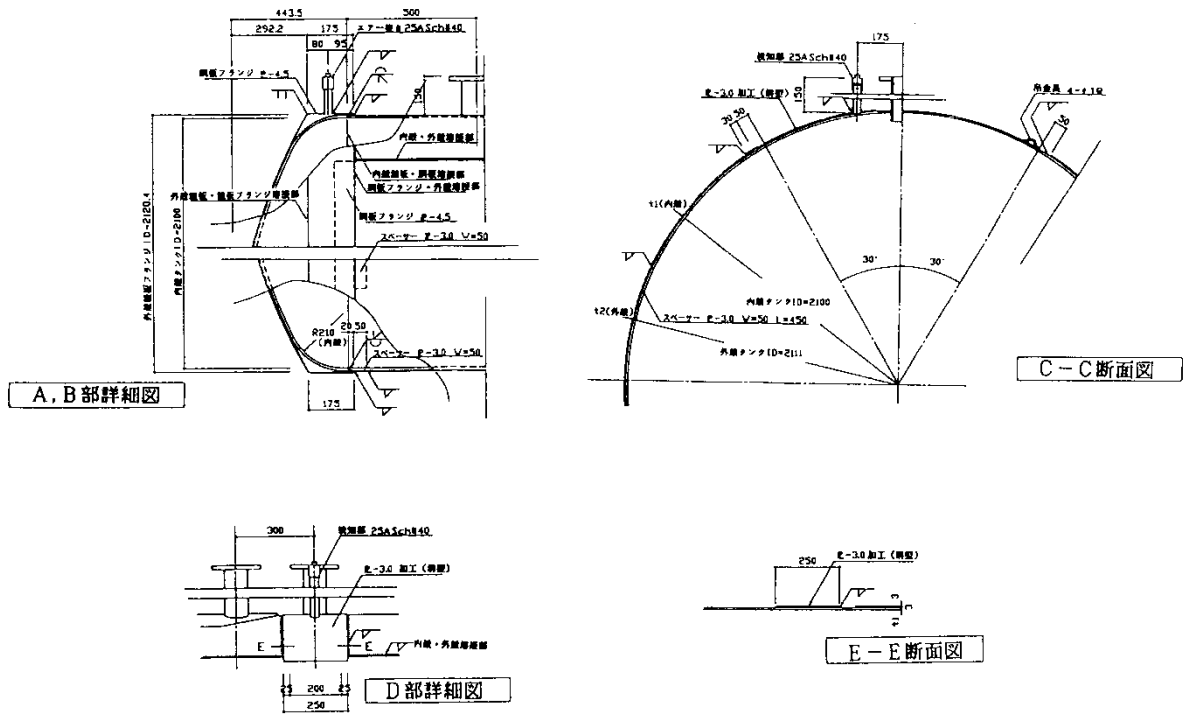


図 3-2 鋼製二重殻タンク各部の例 (20KL 内径:2100)

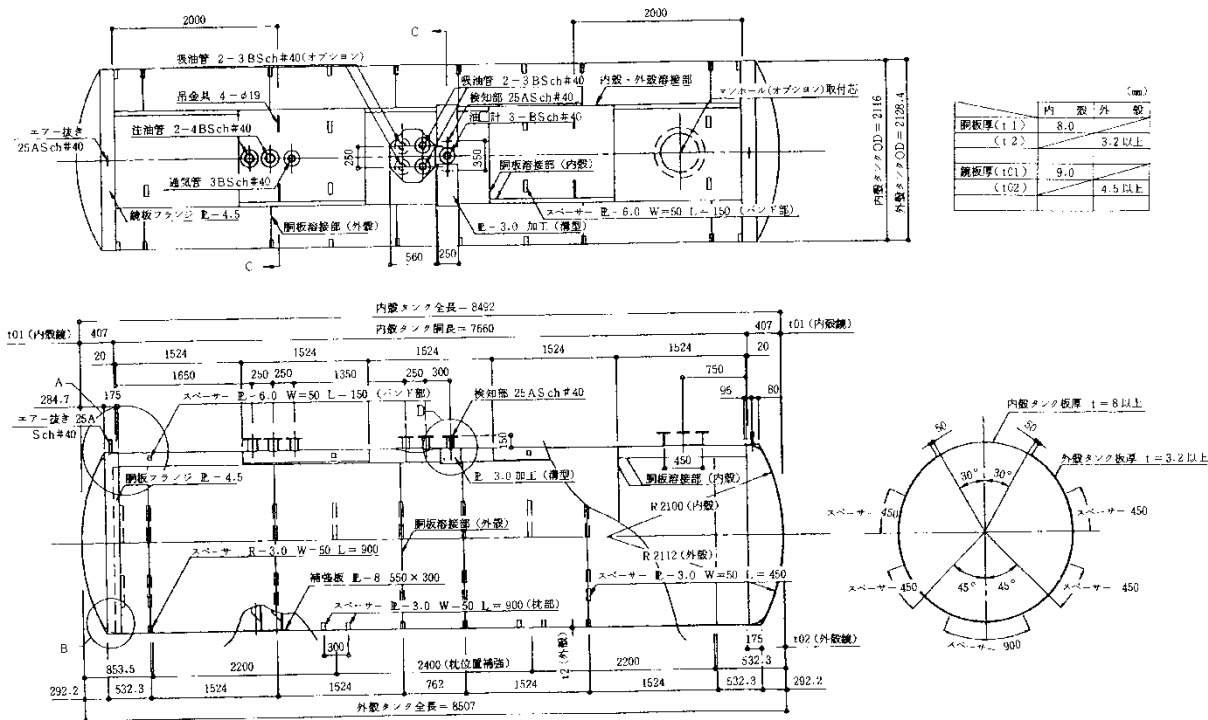


図4-1 鋼製二重殻タンク構造の例 (25KL 内径:2100)

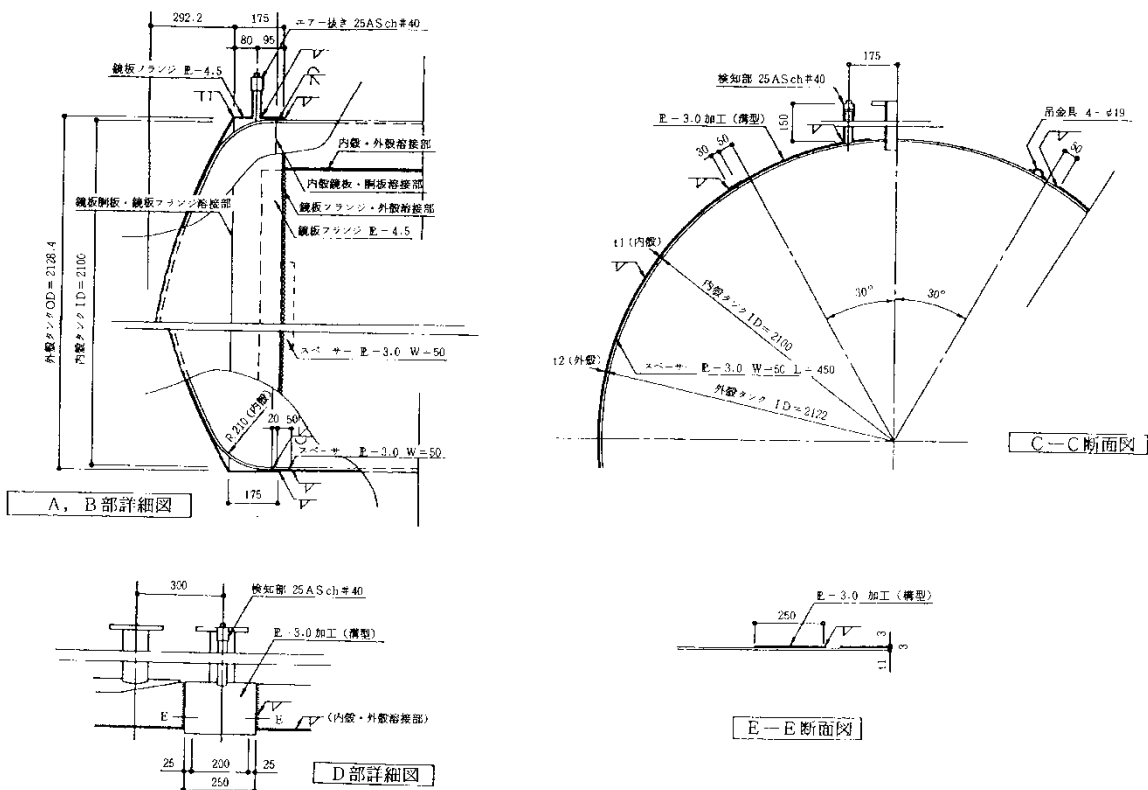


図4-2 鋼製二重殻タンク各部の例 (25KL 内径:2100)

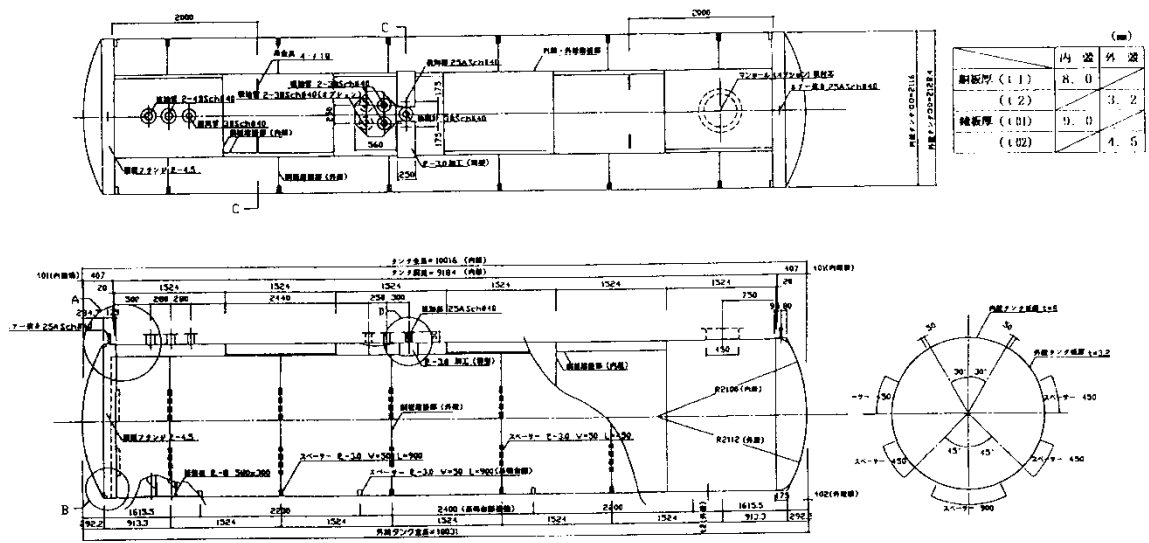


図5-1 鋼製二重殻タンク構造の例 (30K L 内径: 2100)

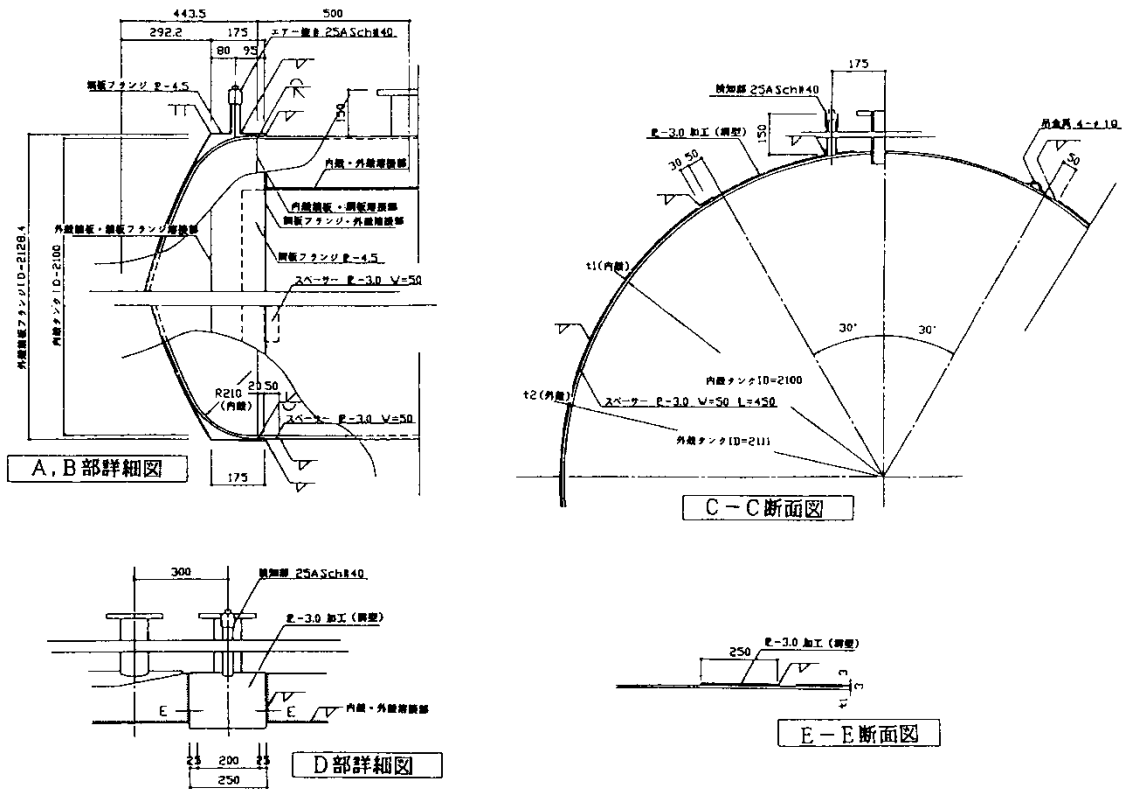


図5-2 鋼製二重殻タンク各部の例 (30K L 内径: 2100)

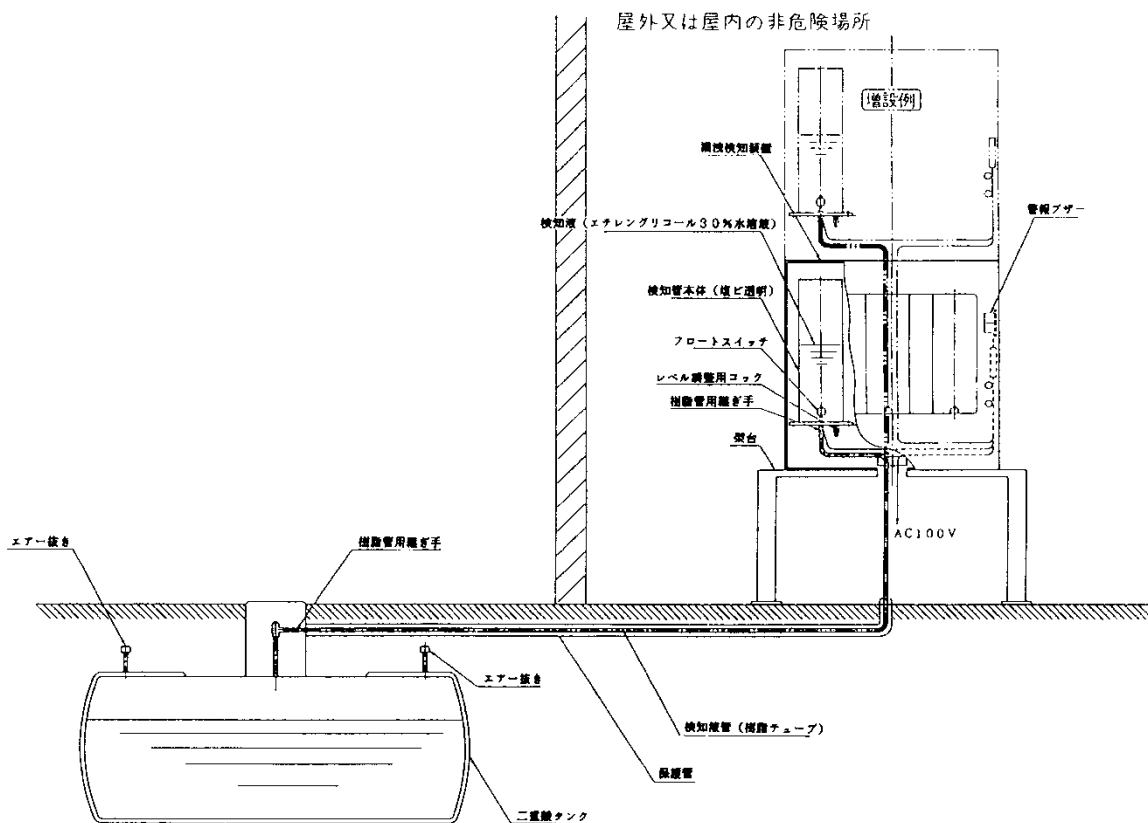
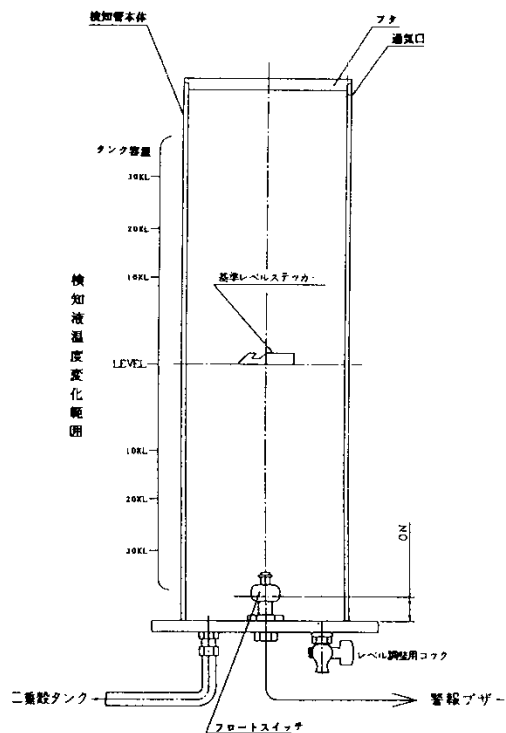


図6-1 鋼製二重殻タンク漏れ検知システムの例



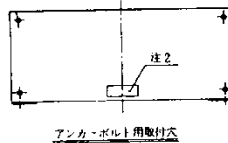
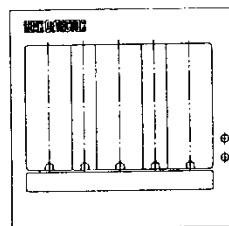
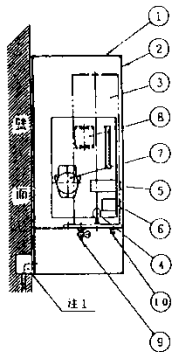
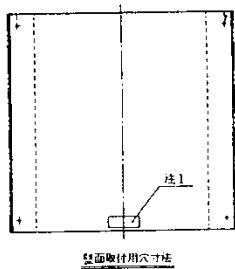
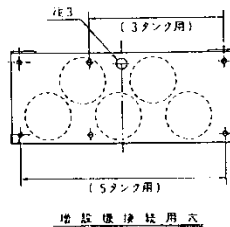
漏洩検知警報装置の検知方法と構造

検知システム

- ①構成 : 漏洩検知装置は、二重殻タンクとその検知層に封入された検知液の液面変化を検知する検知器本体と、異常を検知した場合の警報装置及び配管部より構成される。
- ②検知方法 : 二重殻タンクの内側又は外殻が破損した場合、検知層内の検知液が内側タンク内に流入するか、流れ出し、検知器本体内のレベルが下限位置に達するとフロートスイッチが作動し、警報を発する。

図6-2 漏れ検知装置の例

- 注1) 信号線 (フロートスイッチ)、電源 (AC100V) 及び通水配管用入口 : 埋設配線の場合
- 注2) 信号線 (フロートスイッチ)、電源 (AC100V) 及び配通配管用入口 : 露出配線の場合
- 注3) 信号線 (フロートスイッチ) 及び通水配管用入口 : 増設機接続の場合



10	樹脂管用継ぎ手
9	レベル調整用コック
8	基板
7	警報ブザー
6	作動確認スイッチ
5	電源スイッチ
4	フロートスイッチ
3	検知器本体
2	カバー
1	本体
番号	名称

図6-3 漏れ検知装置の例 (5タンクの場合)